

令和8年度 第1回生駒市行政改革推進委員会 会議録

開催日時 令和8年4月17日(金) 午後2時～午後3時

開催場所 コミュニティセンター 401会議室

出席者

(委員) 森委員長、城戸副委員長、林委員、佐藤委員、江成委員

(事務局) 鍬田経営企画部長、牧井企画政策課長、太田企画政策課企画係係員

(担当課) 井上施設マネジメント課長、今里施設マネジメント課課長

坂本施設マネジメント課課長補佐、藤本施設マネジメント課専門官

明石施設マネジメント課ファシリティマネジメント推進係係長

(傍聴者) 2名

欠席者

清水委員、松山委員、中西委員、平山委員

1 開会

(事務局) 【挨拶、事務局紹介】

2 案件

個別施設計画の改定について

(事務局) 【配布資料確認】

(担当課) 【配布資料説明】

(委員) 部会の中で福祉センターの駐車スペースの問題が以前に結論として出ているが、鹿ノ台ふれあいホールも同じような問題があった。施設の移転ではないが、周辺の公共施設も含めた駐車スペースの確保のことは書くべき。議論の中にも出てきた。

(委員長) これはハード系に関することであると思う。事務局いかがか。福祉センターと同様でいいか。

(担当課) 表現は考えるが、付け加える。

(委員長) 次にコミュニティセンター2施設について。この2施設は性格が同じなので文言が一緒になるというのは不自然ではないが、それぞれ特殊な部分があれば。

(委員) 北コミは利用者の安全を最優先に、予防保全をより強調できるような表現にしてい

ただきたい。北コミも南コミも図書室が雨漏りをしていると伺った。本の上で雨漏りしているのは予防保全とは少し違う。

(委員長) それは事後保全である。

(委員) 予防保全と、問題が起こったときの速やかな対応等体制の構築のことを記載いただきたい。

(委員長) ソフト面か。

(委員) ハードなのかソフトなのか難しいところ。

(担当課) 指定管理者と一度調整する。

(委員) 雨漏りしていることが市へ報告されているのか、いないのかがよくわからない。

(担当課) 担当課のほうで確認して、今修理をしていると聞いている。

(委員長) 不具合があればすぐ対応するのは図書館だけではない。

(委員) 指定管理者の問題なのか、ハードに対する対応の問題なのかはわからないが、問題があり対応ができていない。そこを対応していただきたい。

(委員長) 個別施設計画が問題なのか。もっと下のレベルの問題では。やはり予防。広く予防保全をしっかりとすべき。

(委員) 南コミに入ったときに、空調の工事の音が気になるので早めの対応が必要。

(委員長) 施設環境としての設備の問題だと思う。

(委員) 良好な施設の維持管理に含まれるのでは。

(委員長) 含まれると思う。抽象的なものの中に具体的なものが根拠としてあるということは大切。2施設については現在の記載のままで進めたい。

(委員長) 公営住宅関係はいかがか。

(委員) 土砂災害特別警戒区域内とされている住宅に関して中長期的な対応でいいのか。

(委員長) もっと早くやるべきと。

(委員) 警戒区域なので、普通のところではなくレッドゾーン。この再開発住宅が崖を切り崩して建てていて、後ろは崖。土砂災害警戒区域に位置する第2元町住宅は担当課から危ないから移転しませんかと住人に伝えたが、ここに愛着があるという話だった、それでも生駒市の責任として、市民の生命財産が守れるのか。

(委員) 市民の安全を最優先に考える必要がある。

(委員) 中長期的でいいのか難しい。

(委員長) 災害時にというのは全部、レッドゾーン。

(委員) 崖にあるので、気象現象が激しくなると危険である。

(委員長) 強制力はない。あくまで居住者の居住権とのバランス、最後はやはり同意が必要になる。

(委員) ソフト面に関しても適切な説明を継続的に行うことに加え書面で同意を得るところまで踏み込んだ方がいい。

- (委員長) 後はもう少し具体的に。中長期的というのを、できるだけ早くという表現に。公営住宅全体のできるだけ早い再編を検討するという形で、短期も含めるという文言が適切。
- (担当課) 変更する。
- (委員) 再編の検討を開始することはないのか。公営住宅を作ることが目的だが方針が決まっていない。
- (委員) 危ないからどこか移転を考えてくれませんかというのはいけない。具体的に言う必要がある。
- (委員長) 「公営住宅全体のあり方を早急に検討する」ではないか。ハードのところは住民の安全を最優先にして、公営住宅全体のあり方を早急に検討する。いかがか。
- (委員) ソフト面もより具体的に。適切な説明を継続して行うということでもいいのか。書き方の問題かもしれないが。
- (委員長) この書き方だと少し弱い。
- (委員) どれだけ危ないかが伝わっているのかがわからない。
- (委員長) 大丈夫というバイアスが働く。
- (委員) そこに住んでいる方は雨が降ればすぐに避難しましょうという勧告を出さなければいけない。勧告よりも強いもの。
- (委員長) 市が言えるかどうか。
- (委員) 伝わっているのかわからないが、住宅の問題ではないと思う。ソフト面ももう少し。第2元町は災害が起これば絶対に影響があるのでもう少し書き方を強めたらいいのでは。
- (委員長) 例えばソフトのところ、災害時に影響の考えられる住宅であることを前提として、住民に対し適切な説明を継続的に行うということではいかがでしょうか。
- (各委員) 承諾。
- (委員) あと小平尾桜ヶ丘の公営住宅について、倉庫の問題として、空間の有効活用をここに入れてもいいのでは。
- (委員) 使われているのかわからない倉庫が、1世帯に1つある。あれも有効活用できればと思う。
- (委員長) ハード面で。
- (委員) 施設全体の空間の有効な活用方法を検討していただきたい。
- (委員長) 公共住宅全体のあり方を早急に検討する中に入る。文言に合わせて、その中に含まれるという形でいきたい。
- (委員長) 続いて第2部会について審議する。
高山竹林園と花のまちづくりセンターはいかがか。花のまちづくりセンターはこれまで指定管理を行っていない。だからこの文言になっている。とりあえず指定管

理を入れるところから。議論の中では完全に民間化という話も出たが、まだそこまでではない。とりあえず指定管理を入れて民間管理の導入をすべき。

(委員) この2つはこれでいいかなと。

(委員長) 次に、あすか野介護予防拠点施設、介護老人保健施設やすらぎの杜優楽と福祉センターについて、優楽は生駒市が建てた施設である。そういう意味では過渡的な形態にも見えるが、そのことを念頭に置いてソフトのところ。民間事業者が増えていることから、他は民間で実施されているので指定管理期間終了時期に合わせて、民間への譲渡も含めて具体的な手法を検討していただきたい。

福祉センターについては、駐車場が稼働率を上げたら駐車するところがないという問題も出てくる。本センターは住宅地の中にあるので路上に停められたら苦情が絶えない。しかしここは近辺の人が使うというよりは市全体から来られている。だから駐車場が小さくて困っているならば、例えば移転して、駐車スペースも施設もよくなれば誰に不利益を与えることなくサービスだけが改善されるのではないか。この意見を検討してもいいと思う。

残りの生駒駅南自動車駐車場とアコール生駒もやい館、セラビーいこま、駐車場は空き状況を確認できる等の利便性を高めるというのは、具体的にはスマホで確認できるということか。

(担当課) そうである。今導入している駐車場としていない駐車場があり、生駒南自動車駐車場はしていない。

(委員長) 空き状況が確認できる等の利便性の中に含んでいるということ。アコールいこまもやい館は先ほどの福祉センターと同じ障がい者福祉施設としての部分があるが、福祉センターと違うのはここで事業が行われている。食堂などの事業を農福連携で行われている。だから施設の老朽化に伴う移転が与える影響は大きい、だから適切に維持管理していくということが、移転より良いという判断をした。

内容はこの内容でよろしいか。第2部会は修正なしでいきたい。

(担当課) 担当課でまとめた後改めて委員会に対して最終報告を行う。施設の所管課に内容の確認をし、変更が出た際は、事務局で調整し、皆様に最終的に報告する。

(委員) リストの一番右の欄は担当課には見せていないのか。

(担当課) 今回の議論をいただいたうえで担当課に確認いただく。

(委員長) これでよろしいか。今回審議したことは、最後は生駒市が個別施設計画という形で出すことになるが、我々も共同責任を負っている。

(委員) 先日の部会の中でも検討があったが、特に土砂災害警戒区域のレッドゾーンにある住宅をどうするかということが、喫緊の課題として大きなものになる。そのあたりについては全体計画や、個別施設計画の中で明示的に書いて検討を進めていただきたい。

(委員長) 改めてレッドゾーンにあるところを中長期的に検討というのは、そんなにのんびり

していいのかと改めて思う。それでは本委員会としては今の内容で案として提示したい。

(各委員) 承諾。

3 その他

(事務局) 4月30日に第2回の全体会を予定している。5月以降の開催については後日日程調整についてのご連絡をさせていただく。

(委員長) 本委員会では日中働いておられる方も委員になっていただいている。生駒市では今年度から職員の勤務形態としてフレックスタイムを試行的に導入していると聞いており、多くの委員の出席を可能とするため平日の夜間に委員会を開催することも検討していきたい。

4 閉会